

2年生 生活科

# 校区探検

本校の新型コロナウイルスの新規感染者は一桁台が続いている状態ですが、リスクレベル4特別警報は維持されたままです。医療を守る行動期間（10月14日まで）が終了したとはいえ、まだまだ基本的な感染防止対策と移動や外出には細心の注意を払うよう報道されています。本校においても、これまで同様の感染防止対策を徹底しつつ、教育活動は少しずつ、コロナ前の状態に近づけているところです。

2年生は9月29日（水）に保健センター付近の散策に出かけました。収穫を間近に控えた田んぼの稲を見たり、沿道の家にいる鶏や金魚を見たりしながら、友だちと「探検」を楽しんでいました。希望の里たいよう（パン屋さん）を通過するときは職員の方が手を振ってくださり、子供たちも笑顔で手を振っていました。



みなさんが手を振ってくださり、みんなとても喜んでいました。前回の「流藻川」探検に続き、今回の探検も、地域や地域で働く方々の温かさを感じる貴重な体験となりました。



## 高田小だより

### 戻る日常の学校生活

R3. 10. 15 発行  
文責：校長

「自主、自立、自信」やればできるの体験を支える学校づくり

高田校区はこの「わっこ」のように、昔はわき水がたくさん出ていたそうです。流藻川を流れる水がとても綺麗なことを考えると、相当な量のわき水が高田地区の農作物や生活を潤しているということがわかりました。この自然の恵み豊かな高田校区のことについて、今後は史跡等を訪ね勉強していきます。

3年生は10月7日（木）の総合的な学習の時間に、『まちのよさを見つめる』という目的で流藻川に行きました。透き通った水を見ながら川沿いに歩いて行くと、湧水池の「わっこ」に着きます。そこでは、トンボやカエルなどの生き物を見つけ、子供たちはとても喜んでいました。



## 町のよさ発見

3年生 総合的な学習の時間

6年生は、学校のために自分たちに何ができるかを考え行動してくれました。まず、思い立ったのが落ち葉拾いです。本校は敷地内に木が多く、新緑の季節は自然の息吹を感じますが、秋が近づくと、落ち葉が地面全体を覆ってしまいます。残暑の中、6年生の子供たちはせっせとボランティア活動に汗を流してくれました。子供たちは、「思った以上に変な様子を見てやって良かった」と、感想を残してくれていました。

### ありがとう6年生!



5年生は10月13日（水）から一泊二日の計画で、芦北にある「あしきた青少年の家」での集団宿泊教室に行きました。当初は6月の予定でしたが新型コロナウイルス感染症の拡大によって、延期されていたものです。受け入れる施設も、収容人数の制限や活動の内容の見直し、他校との接触を避けたプログラムを導入するなど入念な感染防止対策を講じてもらい実現できました。

子供たちは、集団生活を営む上で最低限大切なことや、友だちと力を合わせて物事を成し遂げることで、友情や信頼が深まるということ等を学んだようです。

この経験を今後の学校生活に生かして、次の学校のリーダーとして活躍してほしいと思います。



## 集団宿泊教室

5年生

してほしいと思います。